

## スマートイノベーションラボ 札幌の共創スペースを開設しました

東日本電信電話株式会社北海道事業部(北海道事業部長 高橋庸人、以下「NTT東日本」)は、スマートイノベーションラボ 札幌の共創スペース「スマートイノベーションルーム」を2020年6月1日(月)札幌市中央区に開設しました。

### 1.目的

NTT東日本は、自社保有の通信ビルなどのアセットを活用し、AIやIoT技術の社会実装に向けた共同実証実験環境であるスマートイノベーションラボ 札幌(図)を札幌市内に開設しています。このスマートイノベーションラボ 札幌は、膨大なデータを高速に処理することができる専用サーバ等のAI・IoT技術検証環境や低遅延かつセキュアな通信検証環境を提供しています。

このスマートイノベーションラボ 札幌の環境を使った実証実験を加速させるため、共同で取り組むパートナー同士が交流し、新たなアイデアの創出や快適に作業をするためのワーキングスペースを開設しました。

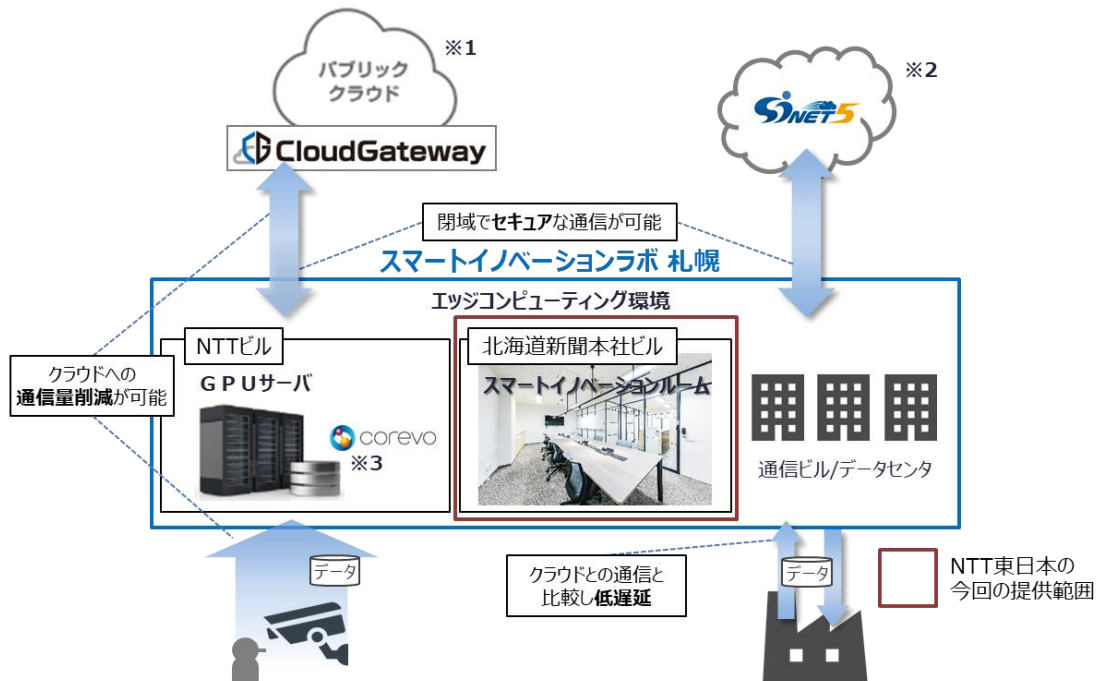


図 スマートイノベーションラボ 札幌 (イメージ)

### 2.内容

「スマートイノベーションルーム」を、「SAPPORO Incubation Hub DRIVE (サッポロ・インキュベーション・ハブ・ドライブ、以下、DRIVE)」※4内に開設します。「スマートイノベーションラボ」を活用した共同実証を行うパートナーが利用可能な「共同作業スペース」を中心として、弊社の取組やAI・IoT技術に触れられる「展示ブース」「eスポーツブース」の3設備を配置し、企業・大学・自治体のニーズにお応えします。

※1 パブリッククラウドの接続先など詳しい情報についてはクラウドゲートウェイクロスコネクトをご覧ください。

※2 SINET は日本全国の大学、研究機関などの学術情報基盤として、国立情報学研究所(NII)が構築、運用している情報通信ネットワークになります。

※3 NTT グループのAI 関連技術「corevo®(コレボ)」の学習高速化技術

※4 SAPPORO Incubation Hub DRIVE (サッポロ・インキュベーション・ハブ・ドライブ)は、北海道新聞社が運営するスタートアップや企業、大学、自治体などがつながり、新規事業やイノベーションの創出を支援するインキュベーション施設です。

### <設備の概要>

- ・共同作業スペース : 検証・会議室スペース、GPUサーバへの接続環境等
- ・展示ブース : スマートイノベーションラボ 札幌の紹介・AI体験ソリューションの展示
- ・eスポーツブース : NTT東日本公式eスポーツチーム「TERA HORNS (テラホーンズ)」の活動拠点

### ■スマートイノベーションルーム イメージ写真



■共同作業スペース



■展示ブース・eスポーツブース



■DRIVE コワーキングスペース

### 3.「スマートイノベーションルーム」の概要

- オープン日 2020年6月1日(月)
- 所在地 北海道札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞本社ビル2階
- 営業時間 年末年始を除く9:00～21:00
- 設置設備 共同作業スペース、展示ブース、eスポーツブース
- アクセス 札幌市営地下鉄 大通駅 17B出口より徒歩2分

### 4.お問い合わせ先

下記のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

URL: <https://business.ntt-east.co.jp/service/sil/>

### 5.これからの予定

- ・「スマートイノベーションラボ 札幌」の「スマートイノベーションルーム」を活用し、共同実証を行うパートナー企業および大学、自治体※5を幅広く募集します。
- ・NTT東日本公式eスポーツチーム「TERA HORNS (テラホーンズ)」の活動拠点をDRIVE内に置き、今後、「株式会社NTTe-Sports (2020年1月31日設立)」と連携し、企業内チームとの交流戦や、eスポーツイベントの開催などを通じて道内でのeスポーツの普及促進に取り組みます。
- ・AIを活用した各種ソリューションやNTT東日本のソリューションを展示します。
- ・「Digital × 北斎」を展示します。(山梨県立博物館認定の4Kデジタル絵画を期間限定で公開予定)

### 6.今後について

NTT東日本は、「スマートイノベーションラボ 札幌」を活用し、地域のお困りごと解決のため一層努めてまいります。

※5 共同実証を行うパートナーにつきましては、実証内容などをヒアリングのうえ決定させていただく予定です。